

水俣病

有機水銀が原因

熊大の研究班で結論

水俣病の原因究明にあたってきた

熊本大学医学部内の文部省科学研究班（世良班長）は十四日、水俣

病の原因について「有機水銀が有力な物質である」との結論に達した

ので、十六日から十八日まで同病の現地視察をする厚生省の高野

食品衛生課長にこのことを報告する。また二十日は熊大医学部に

新日窒水俣病院、水俣市立病院、

県、水俣市、同議会、県議会水俣

病特別委員会をまわき、科学研究

班の研究報告会をひらくことにな

っている。

水俣病については二十八年

このため同班では日窒工場塩化

の発病らしい七十人がかかり、

現在まで二十七人が死亡してお

り、同学部では三十年に対策研

究班を設けて原因を調べてき

た。この間、毒物による神経系

疾患ということをはっきりした

が、毒物についてはマンガン、

セレン、タリウムなどの重金属

説が出て、セレンによってネコ

に同じ症状をおこせることから

セレン説が有力視されてきた。

しかしセレンだけでは百分のキ

メ手がないところから、まる四

年足ぶみが続いていた。

ビニールを作るさい水銀を多量に

使うことに注目、ネコによる実験

を続けた結果、きわめて有力なも

のとして浮かび上ってきたもの。

有機水銀はセレンより重い金属

で、塩化ビニール一トを作るのに

六十キロという大量を使っており、

これが魚介類の肝臓やじん臓に沈

でんし、これを食べた人間が神経

をやられるものらしい。

この有機水銀説で水俣病究明は

一歩前進したわけだが、百分確

定というわけではなく、同班で

は今後理学部と協同、潮流や魚

介類の回避などにもメスを入

れ、早急に結論を出したい方針

をとっている。

一方地元の新日窒水俣工場側で

は、熊大の発表を肯定も否定もせ

ず、結局酢酸などを製造するとき

の塩化ビニール、アセトアルデヒ

ドの工程で水銀を使うが、同水銀

を回収するさいに海へ流れるので

はないか。しかし流れる水銀は非

常に少量であり、同工場では昭和

七年から同方法を使用しているの

で、これが水俣病の発生原因とす

るのは疑問だともいっている。ま

た今後も日窒工場などで独自に研

究することになっている。